



個別案件(国別研修(本邦))

2018年04月02日現在

本部/国内機関 : 産業開発・公共政策部

## 案件概要表

案件名 (和) マイクログリッドによる再生可能エネルギー普及のための計画担当者  
(英) Training for Planners to Promote Renewable Energy in Micro Grid

対象国名 アンティグア・バーブーダ

分野課題1 資源・エネルギー—再生可能エネルギー  
分野課題2  
分野課題3  
分野分類 エネルギー—エネルギー—新・再生エネルギー  
プログラム名 防災・環境問題改善支援プログラム  
援助重点課題 防災・環境  
開発課題 防災・環境問題改善

協力期間 2015年05月25日 ~ 2015年08月31日

相手国機関名 (和) アンティグア公共ユーティリティ局

相手国機関名 (英) Antigua Public Utilities Authority

## プロジェクト概要

背景 他のCARICOM(カリブ共同体、以下「カリコム」)諸国同様、アンティグア・バーブーダ(以下「ア国」)にとって重要な開発課題は、火力発電が高い比率を占める電源構成の改善である。自国における化石燃料の産出はなく、また小規模市場であることから初期投資を要する再生可能エネルギーの開発も、小規模の屋根設置型PV発電設備が設置されている程度で、十分に進んでいない。この結果、輸入ディーゼル燃料による火力発電が電力供給の主力となっているため、昨今のディーゼル価格の高騰による電力料金引き上げが各国経済に大きな打撃を与えている。また、ハリケーンなどの自然災害の増加の影響を受けて、気候変動対策、エネルギー安全保障、マクロ経済安定などの観点から更なる再生可能エネルギーの開発に対する関心が高まっている。  
かかる状況下において、ア国政府は、風力発電をはじめとする再生可能エネルギーを取り入れたハイブリッド発電システムの導入を検討している。

上位目標 ハイブリッド発電システムが推進される

プロジェクト目標 ハイブリッド発電システム推進に係るアイデアが形成される

成果 アクションプランの作成

## 投入

日本側投入 本邦研修実施にかかる費用負担(2015年度課題別研修「マイクログリッドによる再生可能エネルギー普及のための計画担当者研修」1名)  
相手国側投入 研修参加適格者の人選及び本邦研修のための諸手続きの実施

## 関連する援助活動

(1)我が国の援助活動 1) 我が国の援助活動 Cooperation of the Japanese ODA  
2014年8月~2015年2月「カリコム諸国 再生可能エネルギー・省エネルギー分野情報収集・確認調査」

2) 他ドナー等の援助活動 Cooperation by Other Donor Agencies, etc.  
中国政府による高効率街路灯の導入(無償)  
GIZによるエネルギー管理士育成支援、家電製品に関するラベリング制度の設立